



地域に密着した医療を目指す

# 足立東部病院だより



発行：足立東部病院 広報委員会 発行日：平成28年9月

〒121-0816 東京都足立区梅島2-35-16 電話：03-3880-1221 FAX：03-3880-1237

ホームページ：<http://www.adachitobu.or.jp> E-mail：[adachitoubujimu@y7.dion.ne.jp](mailto:adachitoubujimu@y7.dion.ne.jp)

## 院長の挨拶

院長 くにえだ ひろゆき 國枝 博之

残暑きびしい折、皆様におかれましては健康維持に苦慮されていると思います。

ここ足立区梅島に病院開設以来30年以上にわたり地域の中核となって医療に努めてまいりました。最近では医療情勢も厳しくなり患者様の負担も増えている状況にあります。その中で、患者様の負担を最小限に質の良い医療サービスの提供を考え、患者様及び御家族様と御相談させていただき治療にあたっております。

又、予防医学の点で病気になる前にどのような日常生活・食生活が大事かを栄養科・リハビリテーション科を含めたスタッフで相談し、情報発信もさせていただいております。

今後も地域密着型の開かれた病院としてスタッフ全員で皆様方の健康管理のお手伝いをさせていただきます。

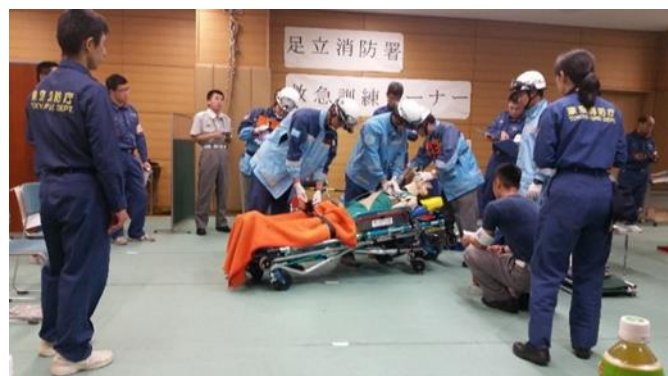
## 救急隊員による救急訓練効果確認を見学して

看護師 おおしま まなみ 大島 愛美

私は、今年3月に入職した1年目の看護師です。同期と一緒に6月に足立消防署で行われた訓練を見学に行ってきました。

訓練の想定は、「屋外で作業をしていた方が蜂に刺された」と通報があり、救急隊員が出動し対応するというものでした。特に印象に残った事の1つめは、少ない情報から、最悪の事態を予測し対応できるよう普段から訓練している事。更に、対応できるだけの知識と技術を身に付けている事。

2つめは、緊急時に落ち着いた態度で丁寧に、患者・家族に声を掛けていた事です。



この2つは、病棟勤務の看護師である私にも共通な事だと思いました。今回 学んだ事を生かし、患者さんやご家族の方が安心して入院生活を送っていただけるよう頑張っていこうと思います。

# 療養病棟の眩き

～完璧を求めない

内科 あさおか 浅岡 きょうこ 京子

ご高齢者が、リハビリ目的に療養病棟に来られます。大腿骨骨折等で手術を受けた方、腰椎圧迫骨折や肺炎のあとに筋力が落ちた方などです。リハビリでは、退院へ向けたゴール設定が大切ですが、ここで完璧に元に戻ることにこだわるとどうなるか。なかなか退院できません。完璧には戻らないからです。お年寄りのはのんびり過ごしたいもの。病院の食事は上げ膳据え膳、リハビリの時間以外は寝てばかりという方も多いのです。さらに、内臓も弱っていますので、肺炎などの合併症を起こし帰宅のタイミングを逃してしまうこともあります。思い切って自宅に戻ることで、必要にせまられご自身の勘が戻り、動けるようになることも多いのです。完璧ではなくもう一息ぐらいがちょうどいいと思います。



## ファッション

検査科 つむらや 圓谷 ありさ

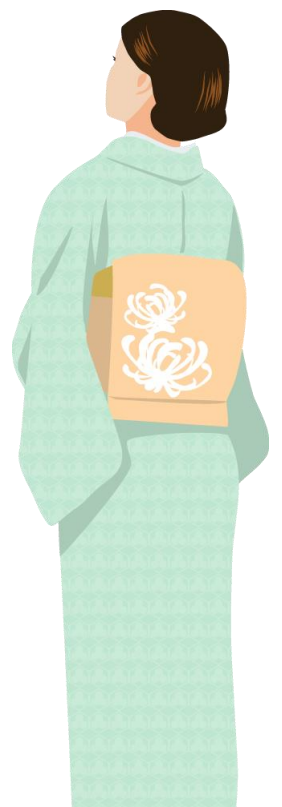
もう20年近く前ですが、私が学生や新卒の頃は、まだ、着物で来院する患者様が何人かいらっしゃいました。心電図の検査のときには「帯はそのまま、胸元を開けて下さい。」とお願いしたものです。

最近では、日常的に和服を着用している方はまず見かけません。自分自身、着物なんて七五三(!)で着たのが最後ですが、なんとなく寂しく感じるものです。

その反面、80歳代以上の方でもジーパンをキリッと履きこなしている方をよくお見かけするようになりました。とても元気で、若々しく感じます。

華やかな服装は、病院の検査では不都合なことが多々あります。

ですが、少々のお洒落は気持ちを高め、小さな病気なら吹き飛ばしてしまう効果があるのではないかな…と思います。





# そけい 鼠径ヘルニア手術、今昔

外科 <sup>りょうけ</sup> 領家 <sup>としお</sup> 俊雄

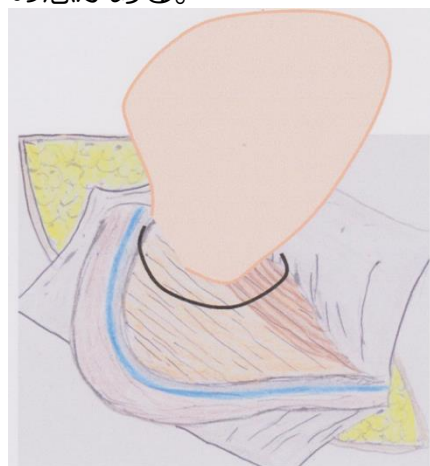
30年前、ヘルニアの手術は大変だった。術後の安静も必要で入院も最低1週間程度必要だった。にも拘らず、再発率は高く（数%から10%くらい）特に組織の脆弱な人の手術は特に大変だった。

それが、ここ10年くらい前から現在に至るまで、メッシュやクーゲルなど人口の布を使うようになって激変した。術後の安静はほぼ不要、入院も1日から2日程度、施設によっては日帰りの所もある。再発率も1/400（0.25%）程度である。

鼠径ヘルニア手術の重要点はヘルニア囊の確実な処理と鼠径管後壁の確実な補強処置にある。これを疎かにすると再発の憂き目にあうことになる。ヘルニア囊が巨大だと、囊を処理した後の後壁がほとんど組織として残らず、人工布を用いる前は、後壁の補強に苦慮したものだ。元々、脆弱な自己の組織を用いてもやはり脆弱な感は否めず、不安を残しながら手術を終えたものである。

人工布を用いるようになって、今までの苦労はなんだったのだろうかと思えるほど後壁の補強は容易になった。後壁の前面を補強するのがメッシュ&プラグ法、後壁の後面であり腹膜前面を補強するのが**クーゲル法**である。（下図参照）

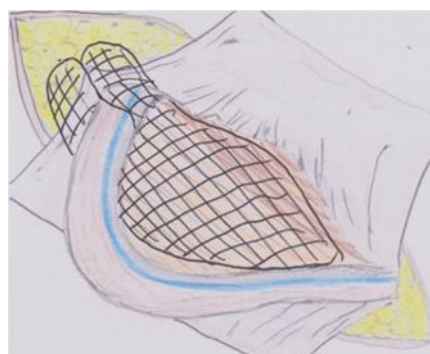
**クーゲル法**は将来的な大腿ヘルニアや内鼠径ヘルニア、閉鎖孔ヘルニアの予防も兼ね、理論的には優れているが、手術はメッシュ&プラグ法の方が容易である。**当院ではクーゲル法を主に行っている。**術後の痛みも人工布を用いた方法は軽いようである。医療材料と技術の進歩には本当に隔世の感がある。



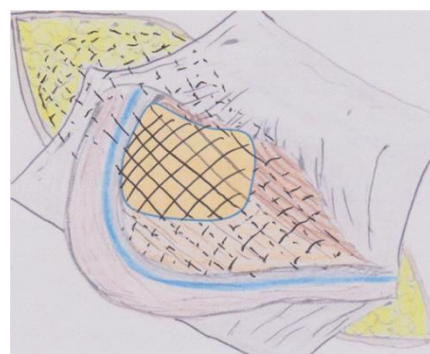
大きなヘルニア囊と  
開大した内鼠径輪



開大した内鼠径輪  
を脆弱な横筋筋膜を  
使って縫合閉鎖する  
が、後壁の補強に関  
して不安感が残る。



【クーゲル法】  
横筋筋膜の背側に  
人工布がある。



【メッシュプラグ】  
横筋筋膜の腹側に  
人工布がある。

# 足立区特定健診は早めの受診を！

区から受診券が届いている方は期限内にご受診ください。

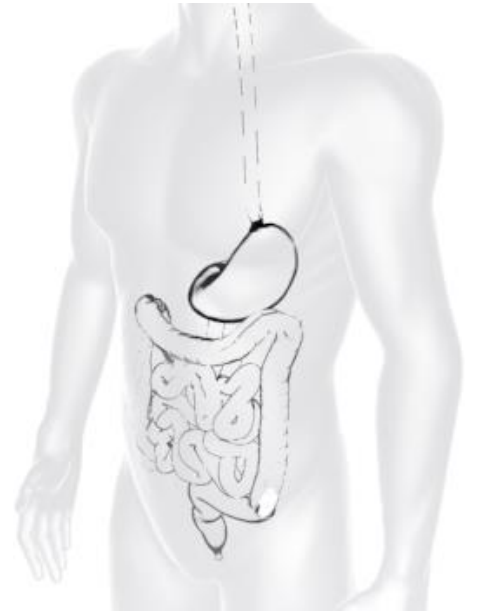
《持参する物》

○区から届いている受診券※

○健康保険証

○当院の診察券(初診の方はお作りします)

※受診券がない(お忘れ)場合は特定健診を受けることが出来ません。



《その他にも足立東部病院では》

- 大腸がん検診（検便） 300円
- 胃がんハイリスク健診（血液検査） 1,000円
- 肺がん検診（胸部レントゲン） 800円
- 前立腺がん検診（血液検査） 800円

◆上記のがん検診を行っております。足立区にお申込みいただき、受診券をお持ちいただければ受診できます。結果は約2週間～1か月かかりますので予めご了承ください。

## 外来診療担当表

H28.9.1 現在

	診察時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前 9:00~12:30	竹林一朗	國枝博之	森田 博	國枝博之	國枝博之	國枝博之
	午後 2:00~5:15	國枝博之	竹林一朗	黒住裕美 小林建三郎	浅岡京子	木下一郎	
外科	午前 9:00~12:30	相馬明紀	領家俊雄	杉本直伸	相馬明紀	杉本直伸	領家俊雄
	午後 2:00~5:15	領家俊雄	杉本直伸	相馬明紀 渡邊正志	片桐敏雄	領家俊雄	
整形外科	午前 9:00~12:30	西村太一	中島伸哉	西村太一		坂本雅光	第1 中島 第2 西村 第3 休診 第4 西村 第5 西村
	午後 2:00~5:15						
脳外科	午前 9:00~12:30						前田 剛
	午後 2:00~5:15				前島貞裕 ※注	山本隆充	
肛門科	午前 9:00~12:30	領家俊雄	領家俊雄		領家俊雄	領家俊雄	
	午後 2:00~5:15						

※ 午前中はAM8:30～ 午後はPM12:00～受付開始

※ 午後の受付はPM5:15に終了となります

※注 第2のみPM1:00~4:00まで その他の週は通常通り